

躍進

薩摩川内市  
体育協会

Vol. 13

市体育協会の加盟団体から、今回は薩摩川内市バスケットボール協会を紹介しします。

【沿革】

◎誕生期  
川内でバスケットが正式に誕生したのは、昭和5年(1930年)のことでした。

旧制川内中学校(現川内高校)でバスケットボール部が創設され、初代主将の山口貫十氏をはじめ、押野慶彦氏、春園實氏、吉田正孝氏、笹山幸俊氏(元神戸市長)らによって黄金期の基礎が築かれました。昭和17年まで明治神宮大会(現国民体育大会)への連続出場を果たし、一気に注目されるスポーツとなりました。

◎創設期

戦後の昭和21年5月に、押野氏を中心に高味三郎氏、吉田氏で川内籠球連盟を設立し、翌年には、第1回川内籠球祭を開催しました。  
旧川内高等学校校庭(現

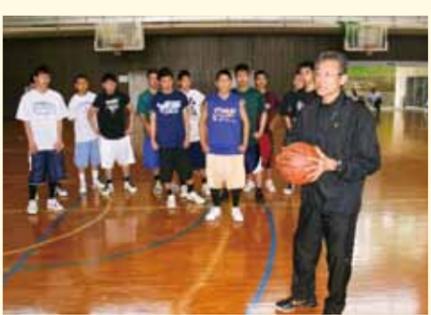
日本たばこ産業跡地)を会場に、同校の指導者でもあった久留影利氏の尽力により、大会の基盤が出来上がりました。当時は、屋外用ゴールを川内高校から担いで運ぶなどして、試合を行っていました。

◎黄金期  
昭和28年から川内高校の女子が6回、同校男子が2回県大会を制覇し、川内商工高校の男子も昭和38年から6連覇を達成しました。  
昭和47年の鹿児島国体の開催前から更なる強化を図ったことで、川内北中学校、川内西中学校(現川内中央中学校)の男女が県下で連続優勝し、その勢いに乗る形で、川内高校・川内実業高校(現れいめい高校)、閉校した川内



【九州クラブ選手権大会】

純心女子高校など、市内の高校チームも連覇を遂げました。国体終了後は、中満民雄氏(じまらしげはる)を中心とした佐原繁治氏(さきはらしげはる)を中心に小学生の強化を図り、亀山小学校、平佐西小学校、育英小学校のミニバスケットボールチームが県代表として、幾度となく全国大会へ出場するなどの成果を挙げられています。  
また、平成23・24年には川内高校(男子)が全国ベスト16に進出するとともに、れいめい高校(男子)も再び台頭しています。



【バスケット教室】

ます。女子チームも県民体育大会で、幾度となく優勝し、実績を残しています。  
また、小学生への熱心な指導が功を奏し、「バスケットのまち川内」の伝統を引き継いでいます。

【今後の取り組み】

日本バスケットボール協会が主導し、本年10月にはプロリーグが開幕します。これにより、子どもたちにも目指すべき大きな目標が出来ると期待しています。  
少子化による競技人口への影響も懸念されていますが、全市的な強化策を図りながらバスケットボールの魅力発信していきます。  
本年5月には協会設立70周



【平成27年度県民体育大会優勝】

【役員・問合せ先】

- ▼会長 齊藤司朗
- ▼副会長 時吉洋三
- 田辺屋勝森
- ▼理事長 笠毛伸一郎
- ☎090(7340)1057



# 薩摩川内市 企業連携協議会



Satsumasendai City  
Business Cooperation  
Council

「薩摩川内市企業連携協議会」は、市内の企業の連携を強化し、企業間および産学官金の交流促進、市経済の発展、雇用の拡大を図ることを目的に、平成25年11月に設立されました。

「薩摩川内市にいて良かった!来て良かった!」と思えるまちづくりを目指して、さまざまな事業に取り組んでいます。今回から、新シリーズとして、本市で活躍する同協議会の会員企業を隔月(奇数月)で紹介しします。

第一弾は、同協議会の取り組みについて紹介しします。

協議会の主な取り組み

■スマコミライトの開発・製造  
太陽光発電と蓄電池を備え、電源が不要な独立電源型LED灯「スマコミライト」が、会員企業18社と産学官の連携で誕生しました。  
外観基本デザインを川内商工高校インターリア科の生徒が、制御装置の回路設計をポリテクカレッジ川内が担当し、各部品を市内企業が製造・調達して完成



学校と企業の情報交換会

市内での就業機会の創出と地元企業の人材確保、雇用拡大・就業率のアップを目的に開催しています。昨年7月に行われた情報交換会には、近隣市町の大学・高校から13校、会員企業20社が参加し、活発な情報交換を行いました。



した製品です。現在、市内外に147基設置されています。

企業見学会 学校対象

学校の進路指導、就職担当者を対象に、市内企業見学会を行いました。事業内容、製品、職場環境などについて理解を深めることで、学生の進路指導などの参考とし、市内での就業機会の創出を図ることが目的です。昨年11月の企業見学会には、近隣市町の大学や高校から10校が参加しました。



PR活動

毎週木曜日18時から、FMさつませんだいの「企業のチカラ メイドイン薩摩川内」で、会員企業を紹介しています。

市内企業訪問

会長と事務局が会員企業を訪問し、現況や課題などについてヒアリングを行い、協議会活動に反映させていきます。

メールマガジンの配信

会員企業向けに、国・県・関係機関などの情報を、メールマガジンで随時配信しています。

協議会プロフィール

【会長】  
田中博(株)岡野エレクトロニクス代表取締役社長

【会員数】

市内企業132社(平成28年4月8日現在)

【協議会の主なメンバー】

■会員 市内に事業所などがあり、本協議会の主旨に賛同する企業

■オブザーバー 県産業立地課、(公財)かごしま産業支援センター

■協力団体 川内商工会議所、薩摩川内市商工会、薩摩川内市産業支援センター、薩摩川内市

■関係団体 かがしま貿易振興協会、川内市金融団三水会、(株)日本政策金融公庫川内支店、ハローワーク川内、ポリテクカレッジ川内、鹿児島純心女子大学、鹿児島障害者職業能力開発校、川内商工高校

【事務局・問合せ先】=本庁商工政策課企業支援グループ ☎(23)5111(内線4331)